

令和 7 年度

事業報告及び財務諸表等

公益財団法人長岡市米百俵財団

令和7年度 事業報告書

I 事業運営

令和7年度は、「米百俵プレイス ミライエ長岡」での「米百俵」の精神や財団の活動をより一層、発信するとともに、令和8年度のみライエ長岡全館オープンに向け、長岡市や関係機関と協議しながら、「新しい米百俵」の理念にかなう人材育成事業の実施体制の検討を行った。

- 1 大学等奨学金貸与事業 【R7 決算額 貸付：86,030 千円 返還：82,207 千円
R6 決算額 貸付：89,650 千円 返還：79,866 千円】

大学生等に対して奨学金の貸付けを行った。

＜貸付人数（採用年度別）＞

令和2年度生1人	令和4年度生23人	令和5年度生27人
令和6年度生35人	令和7年度生29人	合計115人

2 新しい米百俵事業

子どもたちの視野を広げ、問題解決力や柔軟な発想力、自ら未来を切り拓く力を持つ人材を育成するため、様々な分野の講座を開催した。

- (1) 米百俵未来塾（開府400年寄附金充当事業） 【R7決算額：4,223千円 R6決算額：4,495千円】

人材育成に取り組む市内の団体と連携し、「米百俵」の精神をはじめ芸術、スポーツなど全7回にわたる多面的な講座を開催した。

（対象者） 小学4年生～中学3年生

（参加者） 小学生43人、中学生7人、計50人

（講座） 令和7年8月5日～12月13日 全7回開催（開校式8月5日、修了式12月13日）

（共同主催団体） 長岡市芸術文化振興財団、長岡市国際交流協会、長岡市スポーツ協会、
ながおか・若者・しごと機構、まちなかキャンパス長岡

- (2) 高校留学奨学金給付事業 【R7 決算額：900 千円 R6 決算額：2,430 千円】

青少年の国際相互理解を促進するとともに、将来、国際的に活躍する人材の育成を図るために、海外の高校に留学する高校生に対し、奨学金を給付した。

・長期（年間）留学に対する奨学金の給付

選考決定者数1人（応募者数1人）

（留学先）ポーランド

- (3) 中学生海外体験派遣事業 【R7決算額：3,479千円 R6決算額：3,981千円】

長岡市国際交流協会と連携し、長岡市の姉妹都市への中学生海外派遣を行い、将来、国際的に活躍する人材の育成を図るとともに、事前研修で「米百俵」の精神を学ぶ時間を設け、現地での普及啓発に繋げる取り組みを行った。

<実施状況>

・ホノルル訪問

(参加者) 中学1年生 15人 (訪問期間) 令和8年1月12日から18日(7日間)

・フォートワース訪問

(参加者) 中学2年生 20人 (訪問期間) 令和7年10月4日から13日(10日間)

(4) 芸術・文化活動の体験 【R7決算額：783千円 R6決算額：458千円】

長岡市芸術文化振興財団と連携し「東京フィルハーモニー交響楽団 長岡特別演奏会」において一般より安価な特別席を用意し、長岡の子どもたちが本物の芸術・文化に触れる機会を提供した。

(対象者) 小学4年生～中学3年生

(開催日) 令和8年2月21日(土)

(会場) 長岡市立劇場 大ホール

(参加者) 127人

3 中小企業従業員・農業者派遣研修助成事業 【R7 決算額：215 千円 R6 決算額：779 千円】

中小企業従業員派遣研修費助成金の交付 合計4人

(研修先) 中小企業大学校2人、日本歯車工業会1人、長岡電気工事職業訓練協会1人

4 「米百俵」書籍の頒布等による啓発事業 【R7 決算額 棚卸資産：4,869 千円 頒布収益 47 千円
R6 決算額 棚卸資産：3,635 千円 頒布収益 37 千円】

米百俵の精神の普及啓発のため、各種書籍等の頒布等を行った。

	書 籍 等	令和7年度状況
1	「米百俵 小林虎三郎の思想」	有料頒布 14 冊、献本 16 冊
2	ドナルド・キーン氏英訳 「One Hundred Sacks of Rice」	有料頒布 5 冊、献本 1 冊
3	米百俵読本「米百俵 小林虎三郎物語」	市内小学生配付 2,339 冊 有料頒布 39 冊、献本 64 冊
4	「米百俵—その先の未来へ—」	有料頒布 5 冊、献本 1 冊
5	アニメDVD「長岡の侍～米百俵～」	有料頒布 6 枚、寄贈 1 枚

5 「米百俵デーミライエ講演会」の実施 【R7決算額：733千円 R6決算額：36千円】

第6期米百俵未来塾修了生による活動報告を実施し、人材育成事業の取り組みや「米百俵」の精神を発信するとともに、吉藤オリィ氏による講演会を実施した。

(開催日) 令和7年6月7日(土)

(会場) 米百俵プレイス ミライエ長岡 ミライエステップ

(内容) 第1部 米百俵未来塾修了生による活動報告

第2部 記念講演会 吉藤 オリィ氏(株式会社オリィ研究所 所長)

テーマ「サイボーグ時代の人生戦略

—人と機械が融合する時代をどう夢中に生きるか—

(参加者) 約100人

Ⅱ 財団運営

1 理事会の開催状況

第1回理事会（令和7年6月11日）

第1号議案 令和6年度事業報告及び財務諸表等について

第2号議案 後任理事候補者の推薦について

第3号議案 後任評議員候補者の推薦について

第4号議案 臨時職員等就業規程の改正について

第5号議案 令和7年度定時評議員会の招集について

報告事項 理事長の職務の執行状況について、令和7年度奨学生の選考結果について

第2回理事会（令和8年3月2日）

第1号議案 令和8年度事業計画及び収支予算について

第2号議案 令和7年度第1回臨時評議員会の招集について

報告事項 理事長の職務の執行状況について
中小企業従業員・農業者派遣研修助成事業について
米百俵未来塾の活動報告について

2 評議員会の開催状況

定時評議員会（令和7年6月26日）

報告事項 令和6年度事業報告について

第1号議案 令和6年度財務諸表等について

第2号議案 理事の補欠選任について

第3号議案 評議員の補欠選任について

その他 令和7年度第1回理事会決議事項について、令和7年度奨学生の選考結果について

臨時報告会議（令和8年3月26日）

報告事項 令和7年度第2回理事会決議事項について
中小企業従業員・農業者派遣研修助成事業について
米百俵未来塾の活動報告について

3 役員一覧（令和8年3月31日現在）

理 事 長：水流 潤太郎（1名、非常勤）

副理事長：金澤 俊道（1名、非常勤）

理 事：青柳 成俊、石橋 弘光、恩田 真弓、上村 龍文、ジョーンズ文穂、高野 真規、
原 和彦、平澤 則子、村山 光博、湯川 高志（10名、非常勤）

評 議 員：池田 和幸、石田 幸雄、大原 興人、小川 桂子、鎌土 重晴、
佐々木順子、高橋 正則、広川 和義、三島 亮（9名、非常勤）

監 事：唐橋 浩輔、長津 和彦（2名、非常勤）

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

貸借対照表

令和 8年 3月31日現在

公益財団法人 長岡市米百俵財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	82,806	154,276	△ 71,470
棚卸資産	4,869,160	3,635,030	1,234,130
前払金	0	14,690	△ 14,690
立替金	3,707	0	3,707
流動資産合計	4,955,673	3,803,996	1,151,677
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	717,209,230	721,326,830	△ 4,117,600
定期預金	8,639,000	8,639,000	0
普通預金	12,755,184	8,637,584	4,117,600
基本財産合計	738,603,414	738,603,414	0
(2) 特定資産			
奨学事業積立資産	489,959,650	503,187,595	△ 13,227,945
奨学金貸付金	610,062,250	606,239,250	3,823,000
特定資産合計	1,100,021,900	1,109,426,845	△ 9,404,945
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	1,197,900	1,633,500	△ 435,600
その他固定資産合計	1,197,900	1,633,500	△ 435,600
固定資産合計	1,839,823,214	1,849,663,759	△ 9,840,545
資産合計	1,844,778,887	1,853,467,755	△ 8,688,868
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,021,212	1,208,023	813,189
流動負債合計	2,021,212	1,208,023	813,189
2. 固定負債			
長期未払金	1,197,900	1,633,500	△ 435,600
固定負債合計	1,197,900	1,633,500	△ 435,600
負債合計	3,219,112	2,841,523	377,589
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
出捐金	612,105,000	612,105,000	0
寄付金	1,229,454,775	1,238,521,232	△ 9,066,457
指定正味財産合計	1,841,559,775	1,850,626,232	△ 9,066,457
(うち基本財産への充当額)	(738,603,414)	(738,603,414)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,100,021,900)	(1,109,426,845)	(△ 9,404,945)
2. 一般正味財産	0	0	0
正味財産合計	1,841,559,775	1,850,626,232	△ 9,066,457
負債及び正味財産合計	1,844,778,887	1,853,467,755	△ 8,688,868

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

公益財団法人 長岡市米百俵財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,783,583]	[2,931,759]	[△ 148,176]
基本財産受取利息	2,783,583	2,931,759	△ 148,176
特定資産運用益	[3,029,198]	[964,584]	[2,064,614]
特定資産受取利息	3,029,198	964,584	2,064,614
事業収益	[40,013]	[29,681]	[10,332]
書籍頒布収益	40,013	29,681	10,332
受取寄付金	[10,367,290]	[13,894,149]	[△ 3,526,859]
受取寄付金	10,367,290	13,894,149	△ 3,526,859
雑収益	[8,003]	[7,705]	[298]
受取利息	743	445	298
雑収益	7,260	7,260	0
経常収益計	16,228,087	17,827,878	△ 1,599,791
(2) 経常費用			
事業費	[15,814,203]	[17,403,891]	[△ 1,589,688]
給料手当	2,378,157	2,232,599	145,558
福利厚生費	430,563	377,474	53,089
会議費	3,338	13,221	△ 9,883
旅費交通費	3,491,487	3,990,904	△ 499,417
通信運搬費	248,664	162,144	86,520
減価償却費	435,600	435,600	0
消耗品費	583,716	474,920	108,796
印刷製本費	1,487,335	1,431,614	55,721
著作権使用料	22,896	0	22,896
使用料	702,350	376,100	326,250
光熱水料費	12,286	14,559	△ 2,273
賃借料	29,700	98,340	△ 68,640
保険料	20,309	18,476	1,833
諸謝金	1,688,000	2,102,083	△ 414,083
租税公課	400	400	0
支払助成金	215,000	779,100	△ 564,100
支払給付金	900,000	2,430,000	△ 1,530,000
支払負担金	0	20,000	△ 20,000
委託費	2,247,280	1,510,080	737,200
手数料	416,964	425,204	△ 8,240
交際費	19,458	30,373	△ 10,915
広告宣伝費	480,700	480,700	0
管理費	[413,884]	[423,987]	[△ 10,103]
給料手当	264,239	248,066	16,173
福利厚生費	47,840	41,941	5,899
会議費	3,705	2,985	720

科 目	当年度	前年度	増 減
旅費交通費	86,320	94,440	△ 8,120
通信運搬費	0	4,250	△ 4,250
賃借料	3,300	3,300	0
手数料	8,480	9,005	△ 525
交際費	0	20,000	△ 20,000
経常費用計	16,228,087	17,827,878	△ 1,599,791
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[1,300,833]	[1,153,640]	[147,193]
受取寄付金	1,300,833	1,153,640	147,193
一般正味財産への振替額	[△ 10,367,290]	[△ 13,894,149]	[3,526,859]
一般正味財産への振替額	△ 10,367,290	△ 13,894,149	3,526,859
当期指定正味財産増減額	△ 9,066,457	△ 12,740,509	3,674,052
指定正味財産期首残高	1,850,626,232	1,863,366,741	△ 12,740,509
指定正味財産期末残高	1,841,559,775	1,850,626,232	△ 9,066,457
III 正味財産期末残高	1,841,559,775	1,850,626,232	△ 9,066,457

正味財産増減計算書内訳表

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[2,369,919]	[413,664]	[0]	[2,783,583]
基本財産受取利息	2,369,919	413,664	0	2,783,583
特定資産運用益	[3,029,198]	[0]	[0]	[3,029,198]
特定資産受取利息	3,029,198	0	0	3,029,198
事業収益	[40,013]	[0]	[0]	[40,013]
書籍頒布収益	40,013	0	0	40,013
受取寄付金	[10,367,290]	[0]	[0]	[10,367,290]
受取寄付金	10,367,290	0	0	10,367,290
雑収益	[7,783]	[220]	[0]	[8,003]
受取利息	523	220	0	743
雑収益	7,260	0	0	7,260
経常収益計	15,814,203	413,884	0	16,228,087
(2) 経常費用				
事業費	[15,814,203]	[0]	[0]	[15,814,203]
給料手当	2,378,157	0	0	2,378,157
福利厚生費	430,563	0	0	430,563
会議費	3,338	0	0	3,338
旅費交通費	3,491,487	0	0	3,491,487
通信運搬費	248,664	0	0	248,664
減価償却費	435,600	0	0	435,600
消耗品費	583,716	0	0	583,716
印刷製本費	1,487,335	0	0	1,487,335
著作権使用料	22,896	0	0	22,896
使用料	702,350	0	0	702,350
光熱水料費	12,286	0	0	12,286
賃借料	29,700	0	0	29,700
保険料	20,309	0	0	20,309
諸謝金	1,688,000	0	0	1,688,000
租税公課	400	0	0	400
支払助成金	215,000	0	0	215,000
支払給付金	900,000	0	0	900,000
委託費	2,247,280	0	0	2,247,280
手数料	416,964	0	0	416,964
交際費	19,458	0	0	19,458
広告宣伝費	480,700	0	0	480,700
管理費	[0]	[413,884]	[0]	[413,884]
給料手当	0	264,239	0	264,239
福利厚生費	0	47,840	0	47,840
会議費	0	3,705	0	3,705
旅費交通費	0	86,320	0	86,320
賃借料	0	3,300	0	3,300
手数料	0	8,480	0	8,480
経常費用計	15,814,203	413,884	0	16,228,087
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0	0
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	[1,300,833]	[0]	[0]	[1,300,833]
受取寄付金	1,300,833	0	0	1,300,833
一般正味財産への振替額	[△ 10,367,290]	[0]	[0]	[△ 10,367,290]
一般正味財産への振替額	△ 10,367,290	0	0	△ 10,367,290
当期指定正味財産増減額	△ 9,066,457	0	0	△ 9,066,457
指定正味財産期首残高	1,771,192,791	79,433,441	0	1,850,626,232
指定正味財産期末残高	1,762,126,334	79,433,441	0	1,841,559,775
III 正味財産期末残高	1,762,126,334	79,433,441	0	1,841,559,775

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法によっている。ただし、取得価額と債券金額との差額に重要性が乏しい場合は償却原価法を適用しない。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産・・・・・・・・・・最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①ソフトウェア・・・・・・・・定額法によっている。

(3) リース取引の処理方法

リース会計基準適用初年度開始前（平成20年3月31日以前）の所有権移転外ファイナンス・リース取引並びにリース会計基準適用後（平成20年4月1日以後）の所有権移転外ファイナンス・リース取引の内、リース料総額が少額（3百万円以下）のリース取引及びリース期間1年以内のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、未経過リース料総額は、90,750円である。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	721,326,830	45,982,000	50,099,600	717,209,230
定期預金	8,639,000	0	0	8,639,000
普通預金	8,637,584	4,117,600	0	12,755,184
小 計	738,603,414	50,099,600	50,099,600	738,603,414
特定資産				
奨学事業積立資産	503,187,595	88,906,950	102,134,895	489,959,650
奨学金貸付金	606,239,250	86,030,000	82,207,000	610,062,250
小 計	1,109,426,845	174,936,950	184,341,895	1,100,021,900
合 計	1,848,030,259	225,036,550	234,441,495	1,838,625,314

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財産 からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
基本財産				
投資有価証券	717,209,230	(717,209,230)	(0)	—
定期預金	8,639,000	(8,639,000)	(0)	—
普通預金	12,755,184	(12,755,184)	(0)	—
小 計	738,603,414	(738,603,414)	(0)	—
特定資産				
奨学事業積立資産	489,959,650	(489,959,650)	(0)	—
奨学金貸付金	610,062,250	(610,062,250)	(0)	—
小 計	1,100,021,900	(1,100,021,900)	(0)	—
合 計	1,838,625,314	(1,838,625,314)	(0)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	2,178,000	980,100	1,197,900
合 計	2,178,000	980,100	1,197,900

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産 投資有価証券			
利付国庫債券 1 5 2 回 20年(額面 5 千万円)	50,240,000	45,741,300	△ 4,498,700
福岡市公募公債 2 7 年度 6 回 20年(額面 3 千万円)	30,000,000	26,467,080	△ 3,532,920
利付国庫債券 1 5 7 回 20年(額面 4 千万円)	40,386,000	32,080,000	△ 8,306,000
福井県公募公債 2 8 年度 1 回 20年(額面 1 億円)	100,000,000	78,490,000	△ 21,510,000
利付国庫債券 1 6 4 回 20年(額面 9 千 9 百万円)	98,464,330	77,478,687	△ 20,985,643
利付国庫債券 1 7 0 回 20年(額面 1 千万円)	10,013,000	7,222,000	△ 2,791,000
利付国庫債券 1 7 4 回 20年(額面 2 千万円)	19,820,800	14,153,100	△ 5,667,700
利付国庫債券 1 7 8 回 20年(額面 5 千万円)	50,271,500	34,775,000	△ 15,496,500
利付国庫債券 1 7 9 回 20年(額面 8 千万円)	74,691,200	55,160,000	△ 19,531,200
地方公共団体金融機構債券 1 1 8 回 5年(額面 1 億円)	99,604,000	95,540,000	△ 4,064,000
地方公共団体金融機構債券 1 1 9 回 5年(額面 6 千万円)	58,734,000	57,204,000	△ 1,530,000
鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 1 2 6 回 5年(額面 4 千万円)	39,002,400	38,072,000	△ 930,400
第 2 2 5 回共同発行市場公募地方債 10年(額面 3 千万円)	27,712,200	26,922,000	△ 790,200
三重県令和 3 年度第 1 回公募公債 10年(額面 2 千万円)	18,269,800	17,964,000	△ 305,800
特定資産 投資有価証券			
東京電力パワーグリッド㈱社債 3 9 回 10年(額面 1 億円)	99,381,778	94,860,000	△ 4,521,778
東京電力パワーグリッド㈱社債 6 8 回 5年(額面 1 億円)	100,121,417	97,620,000	△ 2,501,417
北陸電力社債 3 6 3 回 4年(額面 5 千万円)	49,877,750	49,720,000	△ 157,750
合 計	966,590,175	849,469,167	△ 117,121,008

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
奨学事業等寄付金充当による振替額	7,132,627
開府 4 0 0 年寄付金充当による振替額	3,234,663
合 計	10,367,290

計 算 書 類 の 附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の 2. において記載している。

2. 引当金の明細

該当事項なし。

財産目録

令和8年 3月31日現在

公益財団法人 長岡市米百俵財団

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金	第四北越銀行 長岡市役所支店他	運転資金として ゆうちょ銀行 振替口座 No.00600-0-17390 1,000 第四北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.2011487 61,552 大光銀行 本店営業部 普通預金 No.3584127 20,254 <u>82,806</u>	(82,806)
	棚卸資産	米百俵読本 11,482冊 英語版 183冊 日本語版「米百俵」 601冊 米百俵～その先の未来へ～ 1,848冊	頒布用出版物として	(4,869,160) 1,707,747 116,546 337,560 2,707,307
	立替金	従業員源泉税		(3,707)
	流動資産合計			4,955,673
	(固定資産) 基本財産			【 738,603,414 】
	投資有価証券	利付国庫債券他	(共用資産) うち85.14%は、公益目的保有財産であり、運用益を米百俵の精神に 基づく人材育成事業の財源としている。 うち14.86%は、管理運用財産であり、運用益を管理運営費の財源とし ている。 (内訳) 利付国庫債券152回(額面5千万円) 50,240,000 福岡市公募公債27/6(額面3千万円) 30,000,000 利付国庫債券157回(額面4千万円) 40,386,000 福井県公募公債28/1(額面1億円) 100,000,000 利付国庫債券164回(額面9千9百万円) 98,464,330 利付国債債券170回(額面1千万円) 10,013,000 利付国庫債券174回(額面2千万円) 19,820,800 利付国庫債券178回(額面5千万円) 50,271,500 利付国庫債券179回(額面8千万円) 74,691,200 地方公共団体金融機構債券118回(額面1億円) 99,604,000 地方公共団体金融機構債券119回(額面6千万円) 58,734,000 鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券126回(額面4千万円) 39,002,400 第225回共同発行市場公募地方債(額面3千万円) 27,712,200 三重県令和3年度第1回公募公債(額面2千万円) 18,269,800 小 計 <u>717,209,230</u>	(717,209,230) 610,625,866 106,583,364
	定期預金	大光銀行	(共用資産) うち85.14%は、公益目的保有財産であり、運用益を米百俵の精神に 基づく人材育成事業の財源としている。 うち14.86%は、管理運用財産であり、運用益を管理運営費の財源とし ている。 (内訳) 大光銀行 定期預金 No.3620940 8,639,000 小 計 <u>8,639,000</u>	(8,639,000) 7,355,171 1,283,829

特定資産	普通預金	第四北越銀行 長岡市役所支店	(共用資産) うち85.14%は、公益目的保有財産であり、運用益を米百俵の精神に 基づく人材育成事業の財源としている。 うち14.86%は、管理運用財産であり、運用益を管理運営費の財源とし ている。 (内訳) 第四北越銀行長岡市役所支店 普通預金 No.120648 12,655,584 第四北越銀行長岡市役所支店 普通預金 No.42660 99,600 小計 12,755,184	(12,755,184) 10,859,655 1,895,529
	奨学事業積立資産	第四北越銀行 長岡市役所支店他	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、米百俵 の精神に基づく人材育成事業の財源として使用している。 (内訳) 第四北越銀行 長岡市役所支店 定期預金 No.181494 10,000,000 第四北越銀行 長岡市役所支店 定期預金 No.6003644-1 15,000,000 第四北越銀行 長岡市役所支店 定期預金 No.6003644-2 30,000,000 第四北越銀行 長岡市役所支店 定期預金 No.6003644-3 20,000,000 第四北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.42660 142,365,359 第四北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.125167 60,000 第四北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.2035550 23,153,346 東京電力パワーグリッド(株)社債39回(額面1億円) 99,381,778 東京電力パワーグリッド(株)社債68回(額面1億円) 100,121,417 北陸電力社債363回(額面5千万円) 49,877,750 小計 489,959,650	【 1,100,021,900 】 (489,959,650)
その他固定資産	奨学金貸付金	奨学生415名	奨学金の無償貸与	(610,062,250)
	ソフトウェア	北銀ソフトウェア株式会社	奨学金管理システム	【 1,197,900 】 (1,197,900)
固定資産合計				1,839,823,214
資産合計				1,844,778,887
(流動負債)	未払金	北銀ソフトウェア株式会社他	奨学金管理システム保守料、米百俵未来塾活動報告書印刷製本費他	(2,021,212)
流動負債合計				2,021,212
(固定負債)	長期未払金	北銀ソフトウェア株式会社	奨学金管理システム	(1,197,900)
固定負債合計				1,197,900
負債合計				3,219,112
正味財産				1,841,559,775

監 査 報 告 書

令和8年5月27日

公益財団法人長岡市米百俵財団

理事長 水 流 潤 太 郎 様

公益財団法人長岡市米百俵財団

監 事 唐 橋 浩 輔

公益財団法人長岡市米百俵財団

監 事 長 津 和 彦

私たち監事は、当法人の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度に係る事業報告、計算書類及びこれらの附属明細書並びに財産目録の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事はそれぞれ、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況及び事業について報告を聴取し、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査いたしました。

さらに、上記の方法とあわせて、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告及びその附属明細書について

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実の存在は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

